

園 学校だより

令和2年10月20日
横浜市立原中学校
校長 関 宣也
tel 391-0461

No. 5

雁鳴くや秋ただなかの読書の灯 飯田蛇笏

関 宣也



朝夕と寒さを感じ、遠くの富士山も山頂付近が白く色づき始め、秋の深まりを感じる季節となりました。『暑さ寒さも彼岸まで』ということわざがありますが、まさにその通りで、昔の人は体で感じた素晴らしい言葉を残しているなど感じました。

何をするにもいい季節となってきましたが、やはり世間の話題は『コロナ』になってしまうのは悲しいことです。しかし、今回の学校だよりもその話題から離れることはできない感じです。

10月の初めに1年間の節目（前期終業式と後期始業式）を迎えました。本来ならば、それぞれの式で、全校生徒が集まり校歌を歌い、私の話を聞いてもらうのですが、本年度は放送で行いました。振り返ってみると、4月から全校が一堂に会しての式典や集会などは一度もなく、1年生は全校で校歌を歌ったこともなく、本年度着任された先生は、全校生徒が合唱する校歌を一度も聞いたことがないのかなと思うとちょっと悲しくなってきました。そんな中、この前生徒たちにこんな話をしました。



『放送で話をするのは不安です。何が不安かという、皆さんを見ることができず、私が話している時のみなさんの表情や、しぐさがわからず、きちんと伝わっているかわからないところが、不安。』

顔を見て、目と目を合わせて話すことができないのが、こんなに不安であり、ストレスを感じるとは思いませんでした。直接の会話がどれだけ大切か、考えさせられるきっかけになりました。

今の時代は、SNSなどの普及で顔を見ることがなく会話ができてしまっていますが、やはりいつの時代でも、顔を見ながらの会話は大切にしなければいけないと感じるのは私だけでしょうか？

この機会に顔を見ながらの会話というのを大切にしてみたいでしょうか。是非家庭の中で、顔を見ながら話してもらいたいです。

最後に卒業式の日程が決定いたしましたのでご連絡をさせていただきます。

令和2年度の卒業式は、神奈川県統一で令和3年3月11日（木）に決まりました。まだ先の話ですが、お知らせさせていただきます。時間や、どのような形態でおこなうかは決まっておりません。

昨年度（令和元年度卒業式）は、式場に入れるのは卒業生と教職員のみ、保護者、来賓、在校生は式への参列は控えていただきました。これは横浜市教育委員会の方針で決まりました。式後、グラウンドで見送りをする際に、保護者の方に来校していただき、撮影などの時間をとらせていただきました。

本年度は、決まり次第お知らせいたしますが、コロナの影響で、形態の決定は直前になってしまう可能性がございます。ご理解をお願いいたします。

教育実習生の紹介

皆さんこんにちは。10月12日から10月22日までの約2週間、教育実習をさせていただき横浜国立大学の五十嵐 賢人と申します。担当学級は1年7組、担当教科は社会科です。

私の出身地は新潟県です。新潟県といえば、まず真っ先に「お米」や「地平線の果てまで続く田んぼ」といったイメージが思い浮かぶと思います。確かに新潟県のお米は有名ですが、実はチューリップの切り花の生産量が長らく全国1位で、日本屈指のチューリップ生産県という意外な特徴があります。見渡す限り一面のチューリップ畑、なんて場所も少なくありません。

こんな感じで、実習を通して皆さんと交流する中で、原中学校の様々な特徴や素敵な一面をたくさん知れたらいいなと考えています。そして何よりも、この実習の中で教師としての仕事や然るべき心構えなどを学びつつ、社会科の魅力や面白さを授業を通して伝え、実感してもらいたいとも考えています。2週間と短い期間ではありますが、どうぞよろしくお願ひします！！

みなさん、こんにちは。10月5日から22日までの3週間、原中学校で教育実習をさせていただき、稲増虎哉と申します。教科は保健体育を担当させていただきます。中学生時代は、バスケットボール部で活動していました。

私は、6年前に原中学校を卒業し、教師を目指し始めました。目指したきっかけは、ある先生に強い憧れを抱いたからです。とても熱意があり、生徒のことをいつも一番に考える先生で、私もいつかそんな先生になりたいと思うようになりました。

母校に通い、先生方、生徒のみなさんの貴重な時間を頂きながら、たくさんの学びのある3週間にしていきたいと思っております。また、自身の成長だけではなく、一つでも多くのことを生徒に教えられるよう、積極的に生徒とコミュニケーションをとりたいと考えています。どうぞよろしくお願ひ致します。

みなさんこんにちは！ 横浜国立大学から来ました、金城彩葉(きんじょういろは)と申します。1年5,6,7組の国語を担当させていただきます。

実は実習が始まる少し前、初めて原中学校に来たとき校舎内で迷ってしまいました。恐る恐る声を掛けた生徒さんたちがとても親切に案内をしてくださり嬉しかったことを覚えています。実習が始まってからもみなさんとすれ違うたび元気な挨拶をいただけて、とても素敵な中学校だなあと感じています！ 10月12日から22日の2週間とわずかな時間ではありますが、クラス・学年問わずたくさんの人とお話できればと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

こんにちは。10月5日から17日までの2週間、教育実習をさせていただき佐藤友美と申します。教科は国語を担当させていただきます。6年前に原中学校を卒業しました。母校である原中学校に教育実習生として戻ることができて嬉しく思います。

教育実習が始まり1週間が経ちました。廊下ですれ違う生徒は元気に挨拶をしてくれます。自分の中学生時代を思い出し懐かしく思うとともに、さすが原中生だなと感心しております。何回か教壇にも立たせていただき授業を行いました。授業中は各クラスの個性が出ており、雰囲気が違うので楽しいです。授業では生徒との会話を大事にしながら、生徒が楽しく安心して授業が受けられるよう努めていきます。

実習中は、授業や休み時間、部活動など生徒と関わる時間を大切に積極的に生徒とコミュニケーションをとっていききたいです。先生方や生徒からたくさんのことを学び吸収していききたいと思ひます。短い間ですがどうぞよろしくお願ひいたします。

みなさん、こんにちは。10月5日から22日までの3週間、教育実習をさせていただき、田口莉子と申します。教科は国語科を担当させていただきます。

7年前に原中学校を卒業いたしました。母校である原中学校に実習生として来ることができて、大変嬉しい気持ちです。生徒も皆が素直で可愛く、毎日が新鮮で、とても楽しく過ごさせていただいています。また、一年間の中でも大きな行事である合唱コンクールの練習を久しぶりに見て当時のアツい気持ちを思い出しています。

先生のご指導の下、試行錯誤しながら授業をさせていただいておりますが、生徒から学ぶことも多く、頭が下がる思いでいっぱいです。国語が苦手な生徒でも、楽しく参加ができて、少しでも興味をもってもらえるような授業ができるように努めたいと思っております。実習生として原中学校にいたることができる期間も残り少なくなってきましたが、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

初めまして。10月5日から10月22日までの3週間、原中学校で教育実習生として勉強させて頂く、武居学範と申します。教科は英語科を担当させていただきます。

自分の母校で教育実習生として、原中学校の生徒の皆さんともう一度勉強が出来ることを大変嬉しく思います。また、嬉しい反面初めての経験で不安なことも多いですが、一生懸命最後まで頑張りたいと思っております。ぜひ、英語科を通して、英語、言語を学ぶことの楽しさや日本以外の多文化に触れる新鮮さ、英語を学ぶことで得ることができる新しい発見、自分の新たな可能性や将来の展望、そういったものを私から原中学校の生徒の皆さんへ伝えることが出来ればと思っております。同様に、私自身も先生方、生徒の皆さんからたくさんのごこと学び、吸収し自分自身の成長に繋げていきたいと考えております。3週間という短い期間ですがよろしくお願いいたします。

みなさん、こんにちは。10月5日から22日までの3週間、教育実習をさせていただいています、長戸彩夏と申します。教科は社会科で2年5組に入らせていただいています。

私は原中学校の卒業生です。中学生の時の担任の先生方に憧れて教員になりたいと思うようになりました。今、原中学校で教育実習をさせていただいていることをとても嬉しく思っています。日々の中で生徒の皆さんと挨拶したり、お話ししたりすることでいつも元気をもらっています。

社会科の授業は皆さんが楽しく学べるようにたくさん工夫して行います。わからないことがあればどんどん質問してください！

2年5組はとても賑やかなクラスで毎日が楽しいです。話しかけると笑顔で返してくれる優しさがとても嬉しいです。

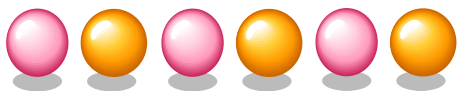
部活動は吹奏楽部に参加させていただいています。部員の皆さんのパワフルな音に感動しています。合奏が毎回楽しみです。

短い期間ですが先生方や生徒の皆さんとたくさんコミュニケーションを取り、学び、立派な先生になることを目標に頑張ります。実習期間も少なくなってきましたがよろしくお願いいたします。

お～いお茶新俳句大賞

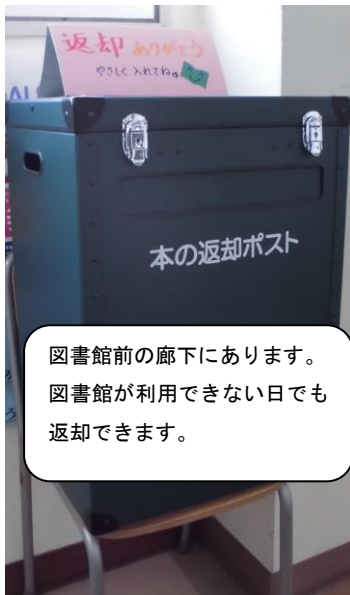
新俳句とは、「季語などの俳句が持つ厳密なルールは問いません。季語がなくても、多少字余り字足らずであってもかまいません。厳密なルールにとらわれず、感じたこと思ったことを五・七・五のリズムに乗せて自由に表現する独自の表現手法は俳句とならぬ新俳句です」(伊藤園お～いお茶新俳句大賞応募要項より)とある通り、厄介なルールは無視して生徒たちは楽しそうに指を折りながら音数を数えています。昨年度取り組んだ作品を応募したところ、次の作品が佳作に入りました。パッケージに印刷とはなりませんでしたが、躍動感のある作品だと思います。今年度も挑戦したいです。(国語科 峰洋子)

甲子園燃える心と焼ける肌 橋本琉生 (2年4組)



読書週間に向けて

学校のあちこちから、日々心地よいハーモニーが聞こえてきます。日中静かな図書館で元気をもらっています。



図書館前の廊下にあります。
図書館が利用できない日でも
返却できます。

図書館前に返却ポストが設置されました。廊下からはこんな声が聞こえてきます。「あ、返却ポストだ！ 図書館らしい！」返却口をパカパカと触っていく人もいます。図書館での返却ポストの存在感って大きいのだなあ、とあらためて思います。

今年度はコロナ対策で、学年別に昼休みの開館を行っています。男子の来館者が多いのが今年の特徴です。新聞や図鑑類を見ながら、楽しそうに“男子トーク”をしているのがほほえましいです。

授業では、9月に3年生国語・俳句の授業で「歳時記」を使いました。三ツ境小学校や瀬谷図書館からも本を借りて、ひとり1冊参考図書がある状況で学習が進められました。素敵な俳句ができた人もいたと聞いています！今は、1年生が、美術の版画制作に向けて「生きもの」に関する資料を探しに来ています。

さて、11/2（月）～11/6（金）は原中読書週間となります。今年のテーマは、『リフレッシュ』。本を読んで、心も頭もリフレッシュしましょう！！今年は、読書スタンプラリー（瀬谷区と共同）、図書委員による本の紹介、朝読書で心を安らげようキャンペーンをおこないます。

今、校内に掲示してある「文化祭新聞」の中段に「グランドピアノがやってくる」の記事があります。『羊と鋼の森（宮下奈都著/文藝春秋）』は、学校に来た調律師を体育館に案内し、グランドピアノの調律の様子を見た高校生が調律師の道へ進む話です。

折しも、涼しく過ごしやすい気候になってきました。本から新しいことを知るもよし。空想の世界に身をゆだねるのもよし。主人公たちと一緒に旅をするのもよし。五感を総動員して物語を味わうのもよし。ドラマを見るような感覚でページをめくるのもよし。皆さんそれぞれ、ひとりひとりの楽しみ方で、リフレッシュしてほしいです。違うタイプの本を1～2冊、同時進行で読んでみるのもいいのかもしれない。

今年、瀬谷区では、区内の全小中学校で読書スタンプラリーを実施しています。読書週間中、この企画に積極的に参加しましょう。夏休み前に配布したスタンプラリーの台紙を使います。1冊読み終えるごとに“せやまるくん”のかわいいスタンプを押します。スタンプが11個たまったら、瀬谷区から小さなプレゼントがもらえます。図書館前には、Jリーグ・横浜FCの選手から瀬谷区の中학생への『本を読もう！メッセージ』ポスターが掲示されています。4名のJリーガーがおすすめしている本は、すべて原中図書館にありますよ！



読書スタンプラリーの台紙
11個集めて景品GET!!

普段、図書館前を出窓のところには、コロナ感染予防のため、返却された本や図書館で立ち読みされた本を置いて風を通していただきます。友だちがどんな本を読んでいるのか、眺めてみるのも面白いと思います。文化祭週間中は、そこに、図書委員会のメンバーが、図書便り、ポスター、ブックトーク、図書館前のガラスケース内で紹介してきた本を展示します。それでは、さっそく「本でリフレッシュ!!」といきましょう。

（学校司書 玉林 由実）